

PUB-NO: FR002643872A1

DOCUMENT-IDENTIFIER: FR 2643872 A1

TITLE: Process and device for packaging products which must be transported in an unconfined environment and at low temperature

PUBN-DATE: September 7, 1990

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TAVERNIER ANDRE	FR

APPL-NO: FR08902814

APPL-DATE: March 3, 1989

PRIORITY-DATA: FR08902814A (March 3, 1989)

INT-CL (IPC): B65B031/00, B65B055/00

EUR-CL (EPC): B65D081/18

US-CL-CURRENT: 206/205, 426/124

ABSTRACT:

According to the invention, a first container 1 and a second container 1' which are preferably identical with each other and superposed are used in combination, the two containers being assembled via two adjacent faces, the said faces comprising openings for gaseous communication, and the interface between the two opposed faces of the two containers is occupied by a frame 4, this frame made of insulating material, such as an expanded synthetic material, being of format corresponding to the opposed faces of the assembled containers, the inner space 5 of the said frame 4 forming the auxiliary enclosure receiving

a reserve of a refrigerating product especially in the form of **carbon dioxide snow** 8 contained in an **envelope** made of a synthetic film 7 and/or **perforated water-repellent paper**, thus permitting the slow dispersion of the carbon dioxide gas resulting from the sublimation of the **carbon dioxide snow** through the said openings towards the inner space of the **containers** with which the auxiliary enclosure is thus maintained in communication. <IMAGE>

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-335648 ✓

(P2000-335648A)

(43) 公開日 平成12年12月5日 (2000.12.5)

(51) Int.Cl.

識別記号

F I

テームコード (参考)

B 6 5 D 81/18

B 6 5 D 81/18

C 3 E 0 6 4

30/08

30/08

3 E 0 6 7

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-151060

(22) 出願日 平成11年5月31日 (1999.5.31)

(71) 出願人 591072385

日本炭酸株式会社

東京都中央区新川一丁目8番8号

(72) 発明者 河野 保

東京都中央区新川一丁目8番8号 日本炭酸株式会社内

(72) 発明者 小川 博之

東京都中央区新川一丁目8番8号 日本炭酸株式会社内

(74) 代理人 100097928

弁理士 岡田 数彦

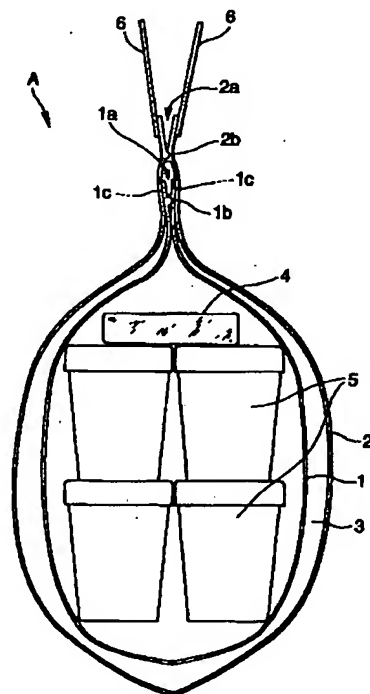
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 容 器

(57) 【要約】

【課題】 冷却用ドライアイスと共に品物を収容する容器であって、ドライアイスの消失速度の遅延化が図られる様に改良された容器を提供する。

【解決手段】 ドライアイス (4) と共に品物 (5) を収容する内袋 (1) と当該内袋より大きな容積を有し且つ当該内袋を収容する外袋 (2) から成り、各袋は一端にそれぞれ口部 (1a) 及び (2a) を備え、各袋の口部 (1a) 及び (2a) は開閉自在の密閉チャック (1b) 及び (2b) にて構成され、内袋 (1) は、その口部 (1a) を外袋の口部 (2a) と同一方向に位置させて外袋 (2) に固定され、内袋 (1) は、その密閉状態において、内部に収容されたドライアイス (4) の気化で発生した炭酸ガスを透過するが膨張する材料で構成され、外袋 (2) は、その密閉状態において、内袋 (1) から流出する炭酸ガスを透過するが膨張して内袋 (1) との間に空間部 (3) を形成し得る材料にて構成されている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ドライアイスと共に品物を収容する内袋と当該内袋より大きな容積を有し且つ当該内袋を収容する外袋から成り、各袋は一端にそれぞれ口部を備え、各袋の口部は開閉自在の密閉チャックにて構成され、内袋は、その口部を外袋の口部と同一方向に位置させて外袋に固定され、内袋は、その密閉状態において、内部に収容されたドライアイスの気化で発生した炭酸ガスを透過するが膨張する材料で構成され、外袋は、その密閉状態において、内袋から流出する炭酸ガスを透過するが膨張して内袋との間に空間部を形成し得る材料にて構成されていることを特徴とする容器。

【請求項2】 ドライアイスと共に品物を収容する内袋と当該内袋より大きな容積を有し且つ当該内袋を収容する外袋から成り、各袋は一端にそれぞれ口部を備え、外袋の口部は開閉自在の密閉チャックにて構成され、内袋は、その口部を外袋の口部と同一方向に位置させて外袋に固定され、外袋は、その密閉状態において、内袋から流出する炭酸ガスを透過するが膨張して内袋との間に空間部を形成し得る材料にて構成されていることを特徴とする容器。

【請求項3】 ドライアイスと共に品物を収容する内袋と当該内袋より大きな容積を有し且つ当該内袋を収容する外袋から成り、各袋は一端にそれぞれ口部を備え、各袋の口部は開閉自在の密閉チャックにて構成され、内袋は、その密閉状態において、内部に収容されたドライアイスの気化で発生した炭酸ガスを透過するが膨張する材料で構成され、外袋は、その密閉状態において、内袋から流出する炭酸ガスを透過するが膨張して内袋との間に空間部を形成し得る材料にて構成されていることを特徴とする容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、容器に関するものであり、詳しくは、冷却用ドライアイスと共に品物を収容する容器であって、特に、アイスクリーム等の冷凍の持ち帰りに好適な容器に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、アイスクリーム等の冷凍の持ち帰りに、ドライアイスが冷却材として使用されている。ドライアイスの使用量は通常1～2時間程度で気化して消失する量とされている。

【0003】ところで、品物と共にドライアイスを単に詰めるだけの従来の容器の場合、ドライアイスの消失速度が速いため、1時間程度の持ち帰りであっても相当量のドライアイスが必要となる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上記実情に鑑みなされたものであり、その目的は、冷却用ドライアイスと共に品物を収容する容器であって、簡単な構成で

ありながらもドライアイスの周囲に断熱層としての空間部を構成することにより、ドライアイスの消失速度の遅延化が図られる様に改良された容器を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】すなわち、本発明の第1の要旨は、ドライアイスと共に品物を収容する内袋と当該内袋より大きな容積を有し且つ当該内袋を収容する外袋から成り、各袋は一端にそれぞれ口部を備え、各袋の口部は開閉自在の密閉チャックにて構成され、内袋は、その口部を外袋の口部と同一方向に位置させて外袋に固定され、内袋は、その密閉状態において、内部に収容されたドライアイスの気化で発生した炭酸ガスを透過するが膨張する材料で構成され、外袋は、その密閉状態において、内袋から流出する炭酸ガスを透過するが膨張して内袋との間に空間部を形成し得る材料にて構成されていることを特徴とする容器に存する。

【0006】本発明の第2の要旨は、ドライアイスと共に品物を収容する内袋と当該内袋より大きな容積を有し且つ当該内袋を収容する外袋から成り、各袋は一端にそれぞれ口部を備え、外袋の口部は開閉自在の密閉チャックにて構成され、内袋は、その口部を外袋の口部と同一方向に位置させて外袋に固定され、外袋は、その密閉状態において、内袋から流出する炭酸ガスを透過するが膨張して内袋との間に空間部を形成し得る材料にて構成されていることを特徴とする容器に存する。

【0007】そして、本発明の第3の要旨は、ドライアイスと共に品物を収容する内袋と当該内袋より大きな容積を有し且つ当該内袋を収容する外袋から成り、各袋は一端にそれぞれ口部を備え、各袋の口部は開閉自在の密閉チャックにて構成され、内袋は、その密閉状態において、内部に収容されたドライアイスの気化で発生した炭酸ガスを透過するが膨張する材料で構成され、外袋は、その密閉状態において、内袋から流出する炭酸ガスを透過するが膨張して内袋との間に空間部を形成し得る材料にて構成されていることを特徴とする容器に存する。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施例を添付図面に基づき詳細に説明する。図1は、本発明の容器の一例の使用前における平面説明図、図2は、図1に示す容器の使用状態における側面説明図である。

【0009】先ず、第1の要旨に係る本発明の容器

(A)について説明する。本発明の容器(A)は、図1に示す様に、ドライアイスと共に品物を収容する内袋(1)と当該内袋より大きな容積を有し且つ当該内袋を収容する外袋(2)から成る。通常、各袋の形状は方形状とされ、外袋(2)の容積は内袋(1)の容積の1.1～2.0倍とされる。

【0010】各袋は一端にそれぞれ口部(1a)及び(2a)を備え、各袋の口部(1a)及び(2a)は開

閉自在の密閉チャック(1b)及び(2b)にて構成される。上記の密閉チャックとしては、一条の凹部に一条の凸部を嵌合させる構造の所謂チャックやジッパーの他、類似構造の所謂ファスナーが好適に使用される。そして、内袋(1)は、その口部(1a)を外袋の口部(2a)と同一方向に位置させて外袋(2)に固定される。内袋(1)は外袋(2)の略中央に固定するのが好ましい。すなわち、図1の様に平面視した場合に、内袋(1)の上下左右が外袋(2)に接しない様に固定するのが好ましい。固定手段は、各袋の構成材料により、ヒートシール法や接着法などが適宜選択される。符号(1c)は接合部を表す。

【0011】内袋(1)は、その密閉状態において、内部に収容されたドライアイスの気化で発生した炭酸ガスを透過するが膨張する材料で構成される。斯かる材料としては、ガス透過性(多孔性)フィルム又はシートが挙げられる。簡便的には、通常のフィルム又はシート(アルミニウム等の金属を蒸着したフィルム又はシートを含む)に直径0.1~1mmのピンホールを適当個数設けて使用してもよい。フィルム又はシートの構成材料としては、ポリエチレン、ポリプロピレン等が挙げられる。

【0012】外袋(2)は、図2に示す様に、その密閉状態において、内袋(1)から流出する炭酸ガスを透過するが膨張して内袋(1)との間に空間部(3)を形成し得る材料にて構成される。図2中の符号(4)はドライアイス、(5)は品物を表す。上記の材料としては、内袋(1)と同様の前記の材料が挙げられる。そして、空間部(3)を効果的に形成するため、外袋(2)のガス透過能は、内袋(1)のそれより小さく、例えば、内袋(1)のガス透過能の0.1~0.9倍とするのが好ましい。具体的には、例えば、内袋(1)に直径1mmのピンホールを8個設ける場合は、外袋(2)に同一大きさのピンホールを4個設ける。

【0013】外袋(2)には手提用の把持部(6)を設けるのが好ましい。勿論、把持部(6)を設けずに他の手提袋に収容して使用することも出来る。内袋(1)及び外袋(2)には、意匠性を高める等の観点から、各種の印刷や着色を施すことが出来る。この場合、温度によって色が変化する示温性材料を使用することも出来る。

【0014】上記の第1の要旨に係る本発明の容器は、その使用状態において、図2に示す様に、内袋(1)が外袋(2)の空間部(3)に宙吊りされた状態となる。すなわち、内袋(1)の実質的全体が空間部(3)で取り囲まれた状態となる。その結果、空間部(3)による断熱空間としての作用により、ドライアイス(4)の気化速度、すなわち消失速度の遅延化が図られる。また、内袋(1)の膨張は、品物(5)の形状などに左右され

ることなく品物の収まり状態を良好にする収容性アップに役立つ。

【0015】次に、第2の要旨に係る本発明の容器について説明する。この容器は、内袋が密閉チャックを有せず且つガス透過性材料で構成されず通常のフィルム等で構成される点を除き、図1及び図2に例示した前記の容器と同じである。第2の要旨に係る本発明の容器は、その使用状態において、内袋の口部から炭酸ガスが流出する。そして、前記の第1の要旨に係る本発明の容器の場合と同様に、内袋が外袋の空間部に宙吊りされた状態となる。

【0016】次に、第3の要旨に係る本発明の容器について説明する。この容器は、内袋が外袋に固定されない点を除き、図1及び図2に例示した前記の容器と同じである。第3の要旨に係る本発明の容器は、その使用状態において、膨張した内袋が部分的に外袋に接することになるが、品物と共にドライアイスを容器に単に詰めるだけの従来の容器に比し、ドライアイスの消失速度が遅延する。

【0017】本発明の容器に収容される品物としてはアイスクリーム等の冷菓が挙げられ、本発明の容器は斯かる冷菓の持ち帰り用として好適に使用される。しかしながら、品物の種類や使用目的は特に制限されない。本発明の容器は、何度も繰り返し使用が出来、しかも、使用中以外は扁平状であるから、折り畳んで容易に減容化することが出来るため、持ち運びにも便利である。

【0018】

【発明の効果】以上説明した本発明によれば、ドライアイスの消失速度の遅延化が図られる様に改良された容器が提供され、本発明の実用的価値は顕著である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の容器の一例の使用前における平面説明図

【図2】図1に示す容器の使用状態における側面説明図

【符号の説明】

1：内袋

1a：口部

1b：密閉チャック

1c：接合部

2：外袋

2a：口部

2b：密閉チャック

3：空間部

4：ドライアイス

5：品物

6：把持部

A：容器

PAT-NO: JP02000335648A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000335648 A

TITLE: CONTAINER

PUBN-DATE: December 5, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KONO, TAMOTSU	N/A
OGAWA, HIROYUKI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
NIPPON TANSAN KK	N/A

APPL-NO: JP11151060

APPL-DATE: May 31, 1999

INT-CL (IPC): B65D081/18, B65D030/08

ABSTRACT:

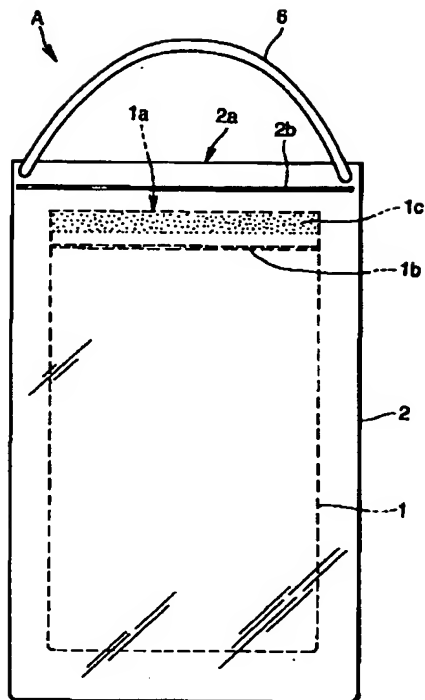
PROBLEM TO BE SOLVED: To retard the speed of vaporization of **dry ice for a container** which contains goods together with cooling **dry ice**.

SOLUTION: The present **container** comprises an inner **bag** 1 which contains goods 5 together with **dry ice** 4 and an outer **bag** 2 in a capacity larger than the inner **bag** 1 for containing the inner **bag** 1 therein, and both of the **bags** have mouths 1a and 2a respectively at their ends and both of the mouths 1a and 2a are constructed so as to be closed and opened by closing **zippers** 1b and 2b. The inner **bag** 1 is fixed to the outer **bag** 2 with its mouth 1a positioned in the direction the same as the mouth 2a of the outer **bag**, and the inner **bag** 1 is formed of a material which transmits, under the state of being sealed up

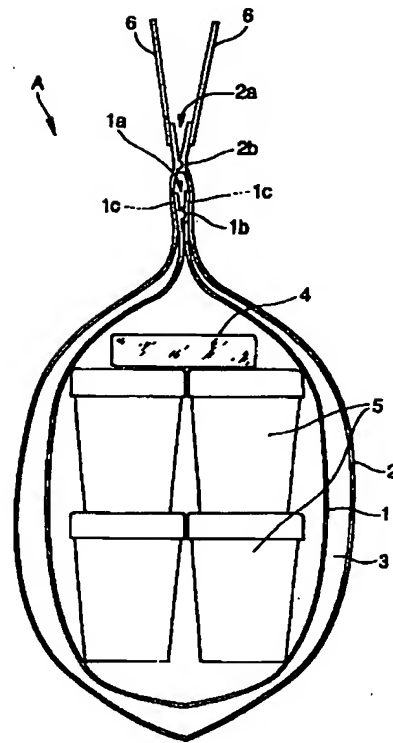
tightly, carbon dioxide produced by vaporization of the dry ice 4 contained therein, but is capable of being inflated, and the outer bag 2 is formed of a material which transmits, under the state of being sealed up tightly, the carbon dioxide flowing out from the inner bag 1, but is capable of being inflated and is also made capable of forming a space 3 between the inner bag 1 and itself.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

【図1】



【図2】



フロントページの続き

Fターム(参考) 3E064 AA01 BA26 BA30 BB04 BC18
 EA10 EA30 FA01 HD02 HE03
 HJ05 HM01 HN13
 3E067 AA11 AB16 AC01 AC03 BA12B
 BA12C BB14B BB14C BB15B
 BB16B CA03 EA18 EA22
 EA31 EB17 EB22 EE13 FA04
 GA02 GB03